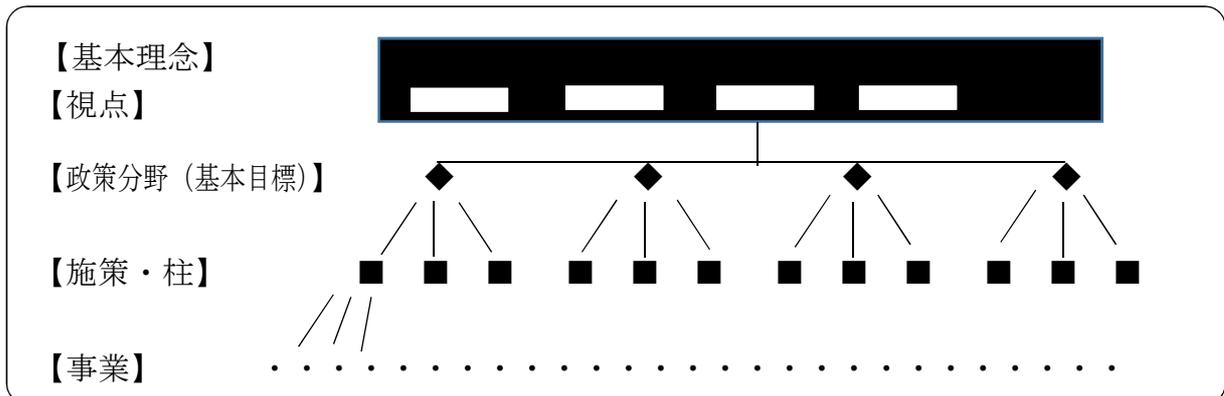


次期「次世代育成行動計画」を作成する際の見直しの視点等

1 見直しの視点

- 市民にわかりやすい計画に
 - ・親しみやすい表現に
 - ・シンプルに
 - ・バランスのよい体系に など

2 見直し内容（変更点）



(1) 基本理念 資料5のとおり

(2) 視点 資料6のとおり

(3) 政策分野 (3) 以降の詳細については資料7のとおり

➤ 「政策分野」は、より分かりやすい表現の「基本目標」に変更。

➤ 「乳児→幼児→小学生→青少年」という子どもの成長段階に合わせた政策体系に見直しを行う。

➤ 現計画（第2次計画）では、「子ども・子育て支援新制度」が新規実施されることに伴い、「幼児期の学校教育や保育の提供」を、政策分野：施策＝1：1の関係で体系づくりをしたが、次期計画では、全体のバランスを考慮して見直しを行う。

(4) 施策・柱

➤ 親しみやすい見せ方として、各施策に副題（キャッチフレーズ）を添えることとする。〔例〕施策（2）母子医療 ～しっかり見守る医療体制～

➤ 柱も、施策によってばらつきがあったため見直して整理。

(5) 事業

➤ 現計画では、施策の貢献度の「高・低」に関係なく、（局所管の）全ての事業を盛り込み、再掲事業も多く規模が大きくなって、全体像が見えにくくなっている。

できる限り「主要事業」に絞り込み、よりシンプルな計画づくりを行っていく。（詳細については、今後提示）